

# シラチャ校だより

泰日協会学校

シラチャ校

1, 3, 2010



## ありがとうございました

3月となりました。この3日には記念すべきシラチャ校第1回目の卒業証書授与式が予定され、12日には、今年度の修了式ということで、無事、開校7年目を終えられる見通しです。

私にとっては、最近になく長く感じられた7年でした。シリントン王女様のご来校を始め、ご来客も多く、出来事全てが初めての対処という新設校ならではの雰囲気の中で学校運営が進められた一年だったと思います。

開校当初から、私が念頭に置いていたのは、「何と言っても学校は中身だから……」ということです。色々なことはあるけれど、私たちの果たすべき責務は、子ども達をきちんと教育すること…、これにつきると思っていた訳です。

※

この視点で、今年7年を振り返って見ると、どうだったでしょう。

学校が、子ども達をきちんと教育するという機能が弱いと、必ず、保護者の方からのお叱りがあります。クレームを頂くわけです。

このことについて振り返ってみますと、この7年間、クレームらしいクレームをほとんど頂かなかったことに気づきます。各学級担任、各教科担当の誠意ある取り組みの結果とっております。また、このことで、私たちのこの7年の教育活動は標準ラインはクリアできていた、と自己評価させていただいて良いかなと思っております。

次は、標準以上のことはどうで

たかということになります。このことを正確に評価するのはなかなか難しいことです。

私は、年度当初、私たちの指導目標を、「楽しい学校、伸びる力」と分かり易い標語にして、職員に表示し、それが実現するよう学校全体で努力してまいりました。

この7年間、私たちは、子どもの学力、体力をしっかりと伸ばし、一人ひとりに良いものの考え方を身につけさせ、それぞれの未来に向かって意欲的に生活する態度を育てるよう努力してきた訳です。

この結果、どうだったかということについて、私自身の評価をひと言だけ言わせていただければ、それは、「かなり頑張った。想定以上の結果も出せた。でも、まだまだ良くはならずだ。」ということになります。

※

しかし、大人の仕事の評価は、自分でするものではなく、他人がするものです。

私たち大人は、自分の周囲の人の仕事ぶりに、絶えず通知表をつけています。腹の中です。

おそらく、子ども達も、保護者の皆さんも、身近な先生達に通知表をつけていることでしょう。紙に書いて評定を渡すという機会と制度がないので、そうしないだけだと思います。

従って、私たちに評価が聞こえてくるのは、かなり良い場合か、かなり悪い場合だけということになります。普通の場合、あまり聞こえ

てきません。

今年度は、2学期に皆さんにアンケートを出し、皆さんのお考えをお聞きする機会がありました。その時には「安心して通える学校である」などの項目で良い点数をいただきました。

良い評価をいただくと私たちも、さらに努力しようという気持ちになり、良い学校作りに弾みがつくものと思います。この意味で、今年度、皆様からのお声かけに感謝する場面が数多くあったなあ、と振り返っているところです。

※

今年度は学校の形を築くために、日本人会の皆さん、PTAの役員さん、保護者の皆さんに、お気持ちと実際の行動の両面でたくさんのご支援を頂きました。心から感謝申し上げます。

来年度は、今年度をふまえ、より良い雰囲気为学校作りを基本にすえ、子ども達をきちんと教育し、力をしっかりと伸ばしてやりたいと考えております。皆様の引き続きのご支援、ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

今年度で帰国される皆様、慣れない外国生活、本当にお疲れ様でした。日本でのご多幸を心からお祈りいたします。

来年度以降も在籍する子ども達と保護者の皆様、私たちの学校が、標準以上の学校となるよう皆で協力していきましょう。

来年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。 (校長)